



ダンス作品作りを体験しよう

スクランブル・ダンスプロジェクト

障がいのある人もない人も一緒に

みんなは“そこ”にいてだけで作品なんだよ
大野慶人

開催日時

2019年 5月19日(日) 11:00~12:30
(10:30より受付)

会場 三の丸小学校 ふれあいホール(2階)

参加費 100円(保険料)

対象 小学3年生以上
障がいを持つ方、その保護者
このような取り組みに興味がある方

定員 30名程度(申込先着順)

申込方法

5月12日(日)までにEメールにて、件名に「スクランブルダンス申込」、本文に氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、参加動機をご記入の上、送信ください。

申込先 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル
info@artdevivre-odawara.jp

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル <http://artdevivre-odawara.jp>

障がいを持つ人に活動の場を提供する団体。アートディレクターとして障がい者のアート活動に多く携わってきた優れた指導者のもと創作活動を行う。アートワークショップのほか、織り、陶芸、料理、英会話、親子ヨガなど、障がいを持つ人のためのさまざまなプログラムを定期開催。2016年4月、小田原市久野に就労継続支援B型事業所をオープン。アール・ド・ヴィーヴルという名称は「自分らしく生きる」という意味のフランス語に由来する。

障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認めあいながら、共にダンスを創る「スクランブル・ダンスプロジェクト」。舞踏家の大野慶人さんから引き継ぎ、松岡大さんを講師にお迎えして、ダンスワークショップを行います。今回は特別ゲストとして、小田原市在住のバケツドラマーMASAさんが参加。言葉や音に合わせて身体全体で表現してみましよう。

ダンス講師!

松岡大 Dai Matsuoka

- 上智大学卒業。桑沢デザイン研究所卒業。
- 2005年より山海塾に舞踏手として参加。
- 「金柑少年」「とばり」「うむすな」「めぐり」などの主要作品に出演中。2011年より、街を歩きながらミュージシャンとダンサーによるライブを鑑賞するウォーキング形式のパフォーマンスイベント「LAND FES」を主催。障害の有無に関わらず子供たちとアーティストがともに創りあげるインクルーシブワークショップ「音ととと」主催。2016年12月には、故・蜷川幸雄氏の意思を引き継いだ、高齢者による世界最大級の群集劇「一万人のゴールドシアター 2016」にてムーヴメント演出のディレクションを務めるなど、多方面で活躍。



photo by 安藤誠

音楽ゲスト!

バケツドラマー MASA

- (バケツドラム、ディジュリドゥ)
- 神奈川県出身、小田原市在住。バケツや廃材などの身近な物でドラムセットを組み上げ、水道管に使われる塩ビパイプをディジュリドゥにして音を奏でるアーティスト。
- 活動は、オーストラリアのメルボルンの路上から始まる。
- 今ではクラブやライブハウス、野外フェス、レイブなどの音楽の現場から学校や福祉施設などの音楽のイメージの無い現場まで、アンダーグラウンドからオーバグラウンドまで様々なステージで人々を魅了している。
- www.bucketdrummermasa.com



お問合せ 小田原市役所文化政策課 TEL0465-33-1706/FAX0465-33-1526 (平日9:00-17:00)

主催 おだわら文化事業実行委員会(小田原市・一般財団法人小田原市事業協会)

共催 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル 協力 NPO法人ダンスアーカイヴ構想



ダンス作品作りを体験しよう

スクランブル・ダンスプロジェクト

障がいのある人もない人も一緒に

ワークショップの様子



松岡さんの言葉で動き出す



つながって歩こう



みんなであまるく輪になろう

— 2019年度のスケジュール —

- ① 音楽×ダンスワークショップ
日 時：5月19日(日) 11:00～12:30
場 所：三の丸小学校 ふれあいホール
ゲスト：バケツドラマー MASA
- ② 舞台×ダンスワークショップ
日 時：8月18日(日) 14:00～15:30
場 所：小田原市民会館 大ホール舞台上
- ③ アート×ダンスワークショップ
日 時：11月30日(土) 11:00～12:30
場 所：小田原市民会館 小ホール
ゲスト：中津川 浩章(美術作家)

*1月以降は公演に向けての稽古を行う予定です。



歩きながらハイタッチ!



いろんな動物になって

参加したみなさんの声

- ・はじめは照れくさくて、どう動いていいかわからなかったけれど、時間が経つうちに、自分の内側を表現することがこんなに気持ちの良いものかと感じました。
- ・他の人と親しくなれ、キレイな踊りができて良かったです。
- ・伸びやかに、自由に動いていく。静かに穏やかに。こんな風な踊りがあるのだな～と不思議な気持ちで見つめていました。
- ・悲しみと喜びの表現では、泣けてしまいました。そしてすっきりしました。
- ・普段生活をしているとあまり関わらなかつたり、知らないままで終わってしまったので、もっといろんな人と交流して自分の知識を深めていこうと思いました。
- ・居るだけでよいという安心感を感じられました。